

坂越近代の年表 1868年～

西暦	年号	月	事柄
1868年	明治元年	2月	妙見寺で行基作と思われる石の堂を発掘
1869年	2年	10月	坂越村イナ座新規約書作成、藩籍奉還により赤穂藩主が赤穂藩知事となる。
1870年	3年	10月	散髪脱刀令施行
1871年	4年	5月	聖徳太子1250年忌を妙見寺客殿にて執行、廃藩置県により赤穂藩が赤穂県となる。
1872年	5年	8月	学制公布、村民の苗字創設、地方行政制度である大区・小区制を設置、第6区として坂越、北野中、南野中、浜市、砂子、高野の6ヶ村をもって坂越組と称す。
1873年	6年	1月	太陽暦使用開始(明治5年12月3日が6年1月1日とする。)
		5月	小学校開設(妙見寺に松風学校、妙道寺に示甲学校、南野中に梨智学校、砂子に文明学校など4校)
		11月	大避神社郷社となる。
1874年	7年		大阪に食塩問屋組合結成され、大阪の安治川南通りに塩商議所開設
1875年	8年	3月	小学校改正、坂越村・砂子村・浜市村・高野村・北野中の連合で妙見寺に洋治小学校を開設。砂子村と高野村に支校を置く。丸山沖の漁業権が尾崎村へ移る。
1876年	9年	8月	飾磨県等を合し兵庫県となる。
1877年	10年	10月	坂越村に郵便ポスト設置許可、魚市場開設許可、坂越地域の区務所で田畑宅地等級批准を議決
1879年			明治14年まで好景気が続く
1880年	13年	9月	本町裏会所に小区を廃止し役場を置く、坂越の大型塩廻船は奥藤家4隻、高川家3隻など南野中村、坂越組より分離し中村に編入
1882年	15年	2月	坂越自由懇談会(高橋孫十郎、高川定次郎ら50名)
		10月	坂越郵便局開設
		11月	坂越自由懇談会が坂越懇談会に改名
			明治21年まで不景気
1883年	16年		坂越－大阪に定期航路就航、大阪安治川の和合社が開いたもので大阪－兵庫－明石－須磨－高砂－網干－坂越
1884年	17年		小学校改正 赤穂群蓼洲小学校の洋治分校となる。荒尾文次郎「坂越地誌編算調書」を編集
			株価暴落(明治18年まで)

1885年	18年		大阪商船会社の佐渡川丸が大阪－坂越間就航
1886年	19年		中学校令公布
1887年	20年	4月	小学校改正、坂越尋常小学校・坂越簡易小学校となる。
1888年	21年	1月	山陽鉄道会社設立(三井銀行、中上彦次郎ら)
		4月	市町村制公布
		9月	坂越市町村制研究会(高川定次郎、高橋孫十郎、奥藤利通ら)
		11月	奥藤研造らが赤穂銀行設立、姫路汽船会社の第一姫路丸が大阪－坂越間に就航
1889年	22年	4月	坂越村発足(坂越・高野・浜市・砂子・北野中・南野中)
		11月	山陽鉄道(神戸－姫路間開通)、大阪商船と姫路汽船の妥協が成立し姫路汽船が営業を取得し、第一姫路丸と新和歌浦丸が就航
1890年	23年	4月	坂越巡査駐在所設置
1891年	24年	3月	山陽鉄道(姫路－岡山間開通)
		4月	小学校改正、簡易小学校を廃止
1892年	25年	3月	高川定次郎らが坂越銀行を開設(頭取は江崎彦次郎)
		7月	千種川大水害
		11月	私立坂越高等小学校開設
			不景気(明治31年まで)
1893年	26年	3月	小学校改正私立坂越高等小学校と合併し坂越尋常高等小学校となる
		4月	就学督励の目的で加里屋・塩屋・尾崎・新浜・坂越の5校合同で運動会を新浜で開く
		7月	千種川改修起工式(亀の甲撤去含む)、坂越で電話機の実験(同年大阪－神戸間電話開通)
1894年	27年	3月	千種川改修完成
		8月	日清戦争
1895年	28年	4月	下関条約調印、塩専売の実施
1897年	30年	2月	奥藤研造が坂越に奥藤銀行開設
		4月	坂越郵便局で電信業務開始、坂越港より赤穂緞通を船積み出荷
1898年	31年	3月	小学校校舎改築
1899年	32年		高谷、砂子に巡査駐在所設置
			坂越橋架設(現、中学校前の橋)
1900年	33年		坂越村農会創設(現在の農協のはしり)
1902年	35年	8月	千種川洪水
1903年	36年		奥藤家が赤八商店を開設し、塩問屋を経営する。
1904年	37年	2月	日露戦争勃発

1905年	38年	4月	小学校改正・坂越裁縫学校を併設
			塩専売制の実施
		9月	ポーツマス条約調印
1906年	39年		「塩廻送売渡規則」に基づく官費輸送の開始
			高取り峠改修工事起工(新道路敷設)
1907年	40年	5月	児島贈従三位旧保存会を設立
1908年	41年	2月	小学校で床の抜ける事故発生(75名負傷)
		8月	小学校校舎として使用していた妙見寺妙覚堂を移設
1909年	42年	5月	高取り峠第2期改修工事竣工
		10月	播磨鑑を復刊
			木村秀蔵がハヶ谷で炭酸マグネシウムの製造を始める。
1910年	43年	4月	妙見寺入仏式
		9月	奥藤酒造株式会社設立
		10月	木村製薬所設立、赤松滄洲の撰文発見(児島高德に関するもの)
1911年	44年	5月	奥藤研造ら赤穂に赤穂電灯株式会社設立
		9月	赤穂－坂越間に電話開通(坂越郵便局で電話事務開始)、旧跡保存会の結成、仏堂合併の令により妙見寺の緒堂を観音堂境内へ移す。
1912年	大正元年	2月	奥藤汽船合資会社が営業権を取得し橘洋丸と新和歌浦丸が就航、赤穂－那波(相生)間にバス開通
1913年	2年	5月	船岡園開園、児島高德550年祭
1914年	3年		船岡園碑文石を東の浜より山まで各町の奉仕により引き上げる。
		7月	大避神社幣帛供進使指定神社となる。
1915年	4年	11月	大正天皇即位祝賀賑わい
1918年	7年	5月	大避神社御厨子新調奉賛行事、奥藤汽船が汽船航路の営業停止 腸チフス流行
1919年	8年	4月	坂越裁縫学校を実業学校女子部に改正
1920年	9年	2月	廃寺となる常楽寺復旧を県知事許可
1921年	10年	1月	坂越報徳会創立
		4月	赤穂鉄道開通
		8月	大避神社県社となる。
1922年	11年	3月	赤穂電灯株式会社が山陽中央水電株式会社に合併
		8月	坂越橋改築着工
		12月	坂越橋改築完成
1923年	12年		坂越村婦人会、坂越村女子青年団を創立
1924年	13年	12月	生島が特別天然記念物に指定される。

1925年	14年	3月	船岡園に忠魂塔を建てる。
		5月	船岡園に赤松撰文を記した石碑を建てる。小学校校舎改築が村会で具体化
		8月	木村製薬所が株式会社となる。
		10月	坂越敬老会を創立
1926年	大正15年 昭和元年	6月	坂越青年訓練所開設、坂越少年赤十字団創立
		9月	小学校校舎改築を村会で議決
1927年	2年	4月	砂子の巡査駐在所が現位置に移る。
		5月	坂越銀行と永信銀行が合併し赤穂合同銀行となる。
		10月	坂越小学校改築
1928年	3年	8月	赤穂に大阪合同紡績会社の分工場開設 宝珠山薬師如来33年目開扉
1929年	4年	8月	水道敷設のための視察を山崎村長と村会議員で行う。
		9月	坂越湾埋め立て事業を村会で議決、委員会で調査設計にかかる。弘法大師1100年祭 西之町から大泊行く海岸道路開通
1930年	5年		浦会所を改造し坂越公会堂とする。
1931年	6年	1月	埋め立て事業に知事の許可下りる。
		5月	赤穂合同銀行と奥藤銀行が合併し奥藤銀行となる。
		8月	坂越村立病院完成、宝珠山八十八ヶ所巡り完成
1932年	7年	5月	忠魂碑の周辺整備
1933年	8年	4月	弘法大師1100年祭
		8月	神戸の紡機製造株式会社の工場誘致が決定し、着工
		12月	第1期埋め立て完成、築地と命名する。消防設備の更新
1934年	9年	3月	社団法人坂越報徳会創立
		4月	烏井町道路敷設工事着手
		5月	村会で水道敷設を議決、補助を県知事に申請
		8月	紡機製造株式会社の坂越工場操業
1935年	10年	3月	「赤穂の地理歴史」を内海定次郎著す。
		5月	水道工事完成
		6月	坂越簡易水道 通水祝賀式
		8月	坂越小学校が「郷土調査」を発行
		11月	婦人会立坂越幼稚園開園、青年訓練所を廃し坂越青年学校を創立

1936年	11年	4月	山崎善吾村長が坂越湾県費支弁港湾指定や海水浴場としての発展で町制施行の許可申請
		7月	町制施行許可
		8月	坂越町発足
		11月	坂越幼稚園が私立幼稚園として認可、坂越町域も赤穂年計画域に編入、東亜繊維工場設立
1937年	12年	4月	坂越町に隣接して赤穂町発足、日本合同紡績会社の社宅完成(山社宅)、国鉄赤穂線の工事始まるが戦争のため工事中断
1938年	13年	2月	町役場が築地へ移転
1940年	15年		国鉄赤穂線高取り峠トンネル工事着工
1941年	16年	3月	兵和銀行が神戸銀行と合併
		11月	私立坂越幼稚園が町営に移管、小学校が国民学校となる。奥藤銀行が西播地域の八銀行と合併し兵和銀行となる。
1942年	17年		東亜繊維が大日本紡績と合併し坂越工場となる。
1943年	18年		大黒に大日本製鋼坂越工場を設立、坂越ならびに高雄の青年学校を廃し坂越町高雄村学校組合坂越青年学校を設立
1945年	20年	4月	大東亜戦争空襲により坂越幼稚園休止(1946年3月まで)坂越沖係留中のセリア丸空襲により炎上
1946年	21年	3月	坂越幼稚園を妙道寺にて開園、国鉄赤穂線工事再開
1947年	22年		小学校が坂越町立坂越小学校となる。坂越中学校設立鳥井、上高谷境より千種川堤防まで道路新設
1948年	23年		坂越町警察署を設置、兵庫県立上郡高等学校坂越分校設置
1949年	24年		坂越中学校、高雄中学校が合併し学校組合立坂越中学校となる。
1951年	26年	1月	赤穂町、坂越町、高雄村の合併を申請
		3月	三ヶ町村合併の仮調停に書調印
		7月	坂越町が赤穂町と高雄村との合併に関する住民投票を行う三ヶ町村の合併調印、坂越幼稚園移転
		8月	赤穂市新設の兵庫県告示
		9月	赤穂町、坂越町、高雄村が合併し赤穂市が誕生
		12月	国鉄赤穂線、赤穂－相生間開通
			赤穂市制施行
1952年	27年	4月	日米安全保障条約発効
		11月	赤穂市教育委員会設置、赤穂鉄道バスが神姫バスに吸収合併
1953年	28年	5月	小幡栄亮二代市長となる。テレビ放送開始する。
1955年	30年	3月	国鉄赤穂線、赤穂－相生間開通赤穂－日生間開通
			有年村、赤穂市に合併 赤穂城隅櫓、大手門復元される。
			(神武景気始まる。)

